

地域づくりセンターを強化します



● 問い合わせ 地域づくり課

(大手事務所3階 ☎34-3280 ㊟34-0400)

松本市の広大な市域は35の特色ある「地区」によって構成されています。松本には、昔から自治を大切にする風土があり、住民主体の地域活動が各地区で展開されています。

今年度、こうした地域活動への支援をさらに充実させるため、地域づくりセンターの機能強化に向けたモデル事業がスタートしました。地域づくりセンターの役割などとあわせて紹介します。

住みよいまちを目指して

安心していきいきと暮らせる住みよいまちをつくるには、住民の皆さんが話し合い、お互いの考えを尊重し合いながら、協力して課題解決に取り組んでいく住民自治の営みが欠かせません。

高齢者の見守りや災害時の備え、児童らの通学路のパトロールなど、

地区の課題に応じたさまざまな取り組みが、そこに暮らす住民の皆さんによって進められています。

地域づくりセンター

地区の課題解決や活性化に向けて、地区と行政が共に考え、協働して取り組んでいくための仕組みとして、市は平成26年、全35地区

に地域づくりセンターを設置しました。地域づくりセンターは、住民自治や地域活動をサポートしていく機関として、地区の話し合いの場づくりや各種団体の活動支援等の機能を担っています。

チームで支援

各地区の地域づくりセンターは、地区公民館や福祉ひろばと連携し、一体となって地域活動の支援に取り組んでいます。

また、保健、福祉などさまざまな専門性を持った職員等を地域づくりセンターがコーディネートし、情報共有や役割分担を行うことで、地区の取り組みをチームでサポートしていく体制づくりを進めてきました。



地域づくりセンターの機能 (一例)

- 1 地区の現状や課題を整理し、住民の皆さんに分かりやすく伝えます。
- 2 地区の課題解決に向けて、皆で話し合う場をつくりまします。
- 3 地区の団体からの相談に乗り、活動を支援します。
- 4 地区と行政との「つなぎ役」として、協働による課題解決を図ります。
- 5 これからの地区のあり方や取り組みを住民の皆さんで決定していく、自治の営みをサポートします。
- 6 地区のさまざまな行事を支援します。



地域づくりセンターの 支援力アップ

今年度、地域活動への支援をさらに充実させるため、地域づくりセンターの機能強化に向けた取り組みに着手しました。

地域づくりセンターと公民館、福祉ひろばとの関係を見直し、より一体的な組織体制に改めたほか、**庄内、島内、芳川、四賀**の4地区をモデル地区に設定し、センター強化のモデル事業を進めています。

モデル4地区では

◆地域づくりに関する交付金の

一括化および拡充

◆センター職員の増員

◆地区担当保健師の駐在化

といった予算、人員体制の充実により、これまで支援の対象となりにくかった市民活動団体や若者等の新たな活動の掘り起こしや、地区の重点課題に対する取り組み等を強化していきます。

※次のページで、モデル4地区の取り組みを紹介します。

住民自治の 事例

島立地区の買い物乗合タクシー

島立地区では、昨年1月から、お年寄りの買い物を支援する「島立買い物乗合タクシー」の運行を始めました。

対象は、1人暮らしか夫婦で暮らす65歳以上のお年寄り、車の運転が難しく、かつ介助なしで買い物ができる方です。利用者の自宅と近隣の大形小売店を往復し、現在24人が登録しています。

この取り組みは、地域づくりセンターが毎月開催している地区関係職員の会議で、住民の要望を聞いた福祉ひろばコーディネーターが、買い物支援について相談したことがきっかけで検討が始まりました。

その後、町会長会での協議や民生委員の協力によるアンケート調査を実施するなど、地区をあげた取り組みに発展し、地区町会連合会が民間のタクシー会社に運行を依頼するかたちで事業が実現しました。



町会役員

地区関係職員

民間事業者



地域づくりセンターが
コーディネート



芳川地区

働き世代等の 地域参加の促進

現状と課題

宅地造成等による人口増加や地域に関わる負担感から、地域、町会や隣組同士のつながりが希薄となってきました。やりがいをもって地域活動などに関わることができる仕組みづくりが求められています。



今後は

- ①グループ等が実施する地域活性化事業に対し、交付金（上限5万円）を支援します。6月30日で応募を締め切り、今後、内容を審査し交付金の支給を決定します。
- ②地域づくり協力隊を立ち上げ、若い世代の視点で地域課題を検討し、地区の未来を見据えた活動を行います。5月下旬以降、地区内広報、SNS、大学生、高校生への参画依頼による募集を行い進めています。

「地区の皆さんや大学生、高校生など、幅広い意見を取り入れながら芳川地区の良さを発信していきます。地域づくりセンターは今後も、主体的に地域で活動されている住民の皆さんを全力でサポートしていきます！」



芳川地区地域づくりセンター
センター長補佐 坂上浩美



地域づくりセンター強化モデル事業

モデル4地区で動き出しています！

島内地区

災害時を想定した町会の活動促進と役割の明確化



現状と課題

島内地区は、地震のほか、水害や土砂災害の危険があります。大規模災害時は、町会を単位とした活動がカギになります。

今後は

防災を切り口に町会活動をより盛んにし、地区の役割を明確化するため、テーマを設定して取り組みます。

四賀地区

中山間地域における 持続可能な地域づくり



現状と課題

直近5年間で約1割の人口が減少（市平均の7倍のペース）しており、地域を維持すること自体が危ぶまれる状況で、これを打開する環境づくりが課題です。

今後は

課題解決に向け、こども・若者、地域の魅力発信、地域活性化、調査・研究の4つの切り口で提案を募りました。地域の意見を踏まえ、支援していきます。

庄内地区

多様な連携による地域包括ケア体制の構築

現状と課題

人口・世帯も多く、町会単位で支援を必要とする課題が異なることから、多様な切り口での解決策の検討が必要です。

今後は

包括ケアシステムの構築を目指し、専門職・機関と連携を図りながら、町会やNPO等による、地域に根差した支えあい活動を支援していきます。

